地域における役員や組織の課題や見直しなど取組み(まとめ)

町では嘱託員の見直しや配布物の減などの見直しを行っていますが、地域においても役員や組織の見直しなどを進めていただいていますので、組織や運営は異なりますが、取組事例の共有を図りたいと思います。

No	年月	区	項目	課題	見直し(実施内容・見直し案)	備考
1	R6.10	沢	組の再編	<ul style="list-style-type: none"> ・組(連絡事務嘱託員単位)構成戸数にかなりのバラツキがある。 →小さな組は役割が何回も回ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 組の構成戸数が少ないところを合併する。 ・中部 5 組と中部 6 組を合併して中部 5・6 組とする。→【常会で決定】 ・北荒井 7 組と北荒井 8 組を合併して北荒井 7・8 組とする。→【常会で決定】 ・南荒井 11 組と南荒井 13 組を合併して南荒井 11・13 組とする。→【常会で検討中】 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅くとも 12 月には機関決定する。 ・配布物数回覧部数は減らない。
2	R6.10	八乙女	女性参画	<ul style="list-style-type: none"> ・区会議員の女性参画 	<p>協議会意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区会では女性の区役員の募集をかけ、男性と同様の労務を行なうのは難しく務職等の業務専門として登用するのはどうか意見が出ている。 ・家事等で並行しながらの区役員の業務を行なうのは非常にむずかしい。 ・女性特有の業務分担を設けて人数合わせの役員登用を行うのは女性参画の趣旨とは異なると感じます。 <p>区役員の業務についても男女関係なく難しいが対応できるように検討していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重作業等は外注へ依頼する。 ・その他区役員になる事での問題点についても女性からの意見を集めていく必要があると思います。 ・日赤についても女性の役員設置を継続することがむずかしく区役員が兼務している現状があります。 <p>以上の意見をふまえて区役員の役割分担も含め今後区会で検討して行く。</p>	
3	R6.10	上古田	常会戸数のアンバランスと役員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ドーナツ化、空き家の増加等により地区の戸数が減り役員の選出に苦労している。 ・区とすれば、常会の合併等を考えることがあったようだが、なかなか住民感情もあり進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の必要度に応じて、複数常会で 1 名選出というような対応を更に進めていく必要を感じている。(例：公民館の各部等) 	

4	R6.10	上古田	役員なり手	・当区においては、区会議員は10名で、50代～60代前半の世代が多く、また4年間という期間も長く、なり手も困難を感じている。 また、定年が延びる中、多くが仕事をもっている。	・区長（個人的には）は、人数や期間の軽減を感じているが、むずかしい。
5	R6.10	中曽根	寺院総代 神社総代	高齢化	寺院総代は任期4年、神社総代も神社社務員からを入れると任期4年と長い ため、任期の短縮などについて、検討中。
6	R6.10	中曽根	組織見直し	本格始動出来ず	区とは別組織の委員会を立ち上げて検討することで総会の承認を得たが、その後、一部より「区が中心となって進めるべき」との意見が出て、調整中。
7	R6.10	長岡	区会議員の 選出方法	代議員（常会長）15名により選考委員会を設置して選考していたがなり手が見つからず難航していた。	昨年より15常会を8グループに分けて各グループごとに区議員予定者のリストを選考委員会に提出する。選考委員会はリストの中から指名して決定するように変更実施した。
8	R6.10	長岡	区長、区長代理の選出 方法	代議員（常会長）15名からなる選考委員会により選考を行っていた代議員が若くなり、選考する対象者との接点が少ないことから折衝が難航していた。	現区長が区長経験者を4名程指名をして、区長・区長代理予定者を見つけて選考委員会に報告を行い、報告に基づき選考委員会にて検討決定を行う様にした。